NPO 法人　いわきの森に親しむ会会報　第３報

2012 年（平成 24 年）10 月 20 日（土）発行

湯ノ岳山荘の今昔

木田章一

湯ノ岳山荘がどこにあるかもわからなかった私が、湯ノ岳山荘にかかわることになったのは平成 11 年のことです。

湯ノ岳山頂へ向かう県道から入ってすぐに丸山公園があります。この公園には小学校時代、子供会の秋の行事で行ったことはありましたが､その奥にひっそりと別世界の空間があったことは分かりませんでした。

施設内部を見ると、木材をふんだんに使っておりとても温かみのある施設であることがわかり、私はいっぺんで好きになってしまいました。建物は斜面をうまく利用した建物で窓からは太平洋やマリンタワーまで一望できます。

この建物の正式名称は、「いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘」といいます。
昭和 52 年に林業の振興に必要な人材の育成、研修及び林業関係者の福利厚生の目的で建設し、その後、林業休養施設を増築、昭和 60 年には市民の自然保護の高揚と健康増進を図るためバンガローを整備しました。

当初は調理師もいて食事付で運営していましたが、利用者が少なくなってきたことから、現在は自炊での宿泊となっていますが、さまざまな利用者と厨房で食事をつくることも、調理方法を伝えあったりできて楽しいものです。

バンガローは 10 棟 12 部屋があり、約 50 名が宿泊できます。なを、湯ノ岳山荘と合わせて約 80 名の宿泊が出来ます。市内でバンガローのあるところは川前鬼ゲ城、遠野オートキャンプ場ここのみです。

いわき市林業研修センター　湯ノ岳山荘

隣接して、鹿のいる丸山公園を紹介します。この丸山公園には以前には、熊、カニクイザル、ニホンザルもいました。
熊とニホンザルは平にある松が岡公園から移動しました。

三崎公園にも熊がいたのですが、それら、市内の公園にいた動物をすべて丸山公園に集めたのです。しかし、熊やサルはいずれも死んでしまい現在は、鹿、やぎ、うさぎ、にわとり、アヒルのみになってしまいましたが、春の動物の誕生シーズンには鹿の赤ちゃんのとてもかわいいバンビを見ることができます。

平成 16 年からは、NPO 法人いわきの森に親しむ会が市から委託を受け管理しておりますが、利用者は以前に比べ 10 倍になりました。

昔どこにでもあった里山を再現し、昔我々が遊んだことのある、なつかしい環境をつくっていきたいと思いますので、定年を迎え時間がたっぷりある方やご家族など、どうかお気軽にお越し願いといと思います。

ホームページをリニューアル中

池野上幸弘

当会は平成 13 年 10 月に設立し、平成 15 年 5 月にホームページを開設しました。開設当初より、月１回のペースで「会員の皆様へのお知らせ」、「翌月の活動計画」、「先月の活動報告」等を掲載してきました。

平成 17 年 10 月の「ろうきん森の学校」の開校に伴い、この情報も簡単な形ですがお知らせしてきました。

内容は情報の発信が主で、ホームページをご覧の方の情報の受信等はできない形で運用されてきました。このたびより魅力のあるサイトにするため、プロに依頼して内容を大幅に変更する作業を行っています。

また管理運用も２０代、３０代の若い会員の方が行うことになりました。

自然体験学習の支援活動を行う

プログラム研修会

野口　紘

去る８月に行われた森林環境基金事業成果発表会に於いて、ここ 4～5 年間関係してきたいわき市立田人第２小学校の活動事例について「理想的な森林環境教育」の事例として高い評価を得ました。

地元の人達と一緒に取り組んできたことが良かったものと思っております。

今後ともに「五感で感じる　自然体験活動」を基本に先生が行う環境教育の支援を中心に取り組んでいこうと思います。

幼稚園児から大学生まで「「五感で感じる　自然体験活動」活動を通じて子供達と　ふれあい遊び元気を逆に頂く事に興味の有る」会員の皆さん

◎今期の活動内容

＊各小中学校学習支援（7 月～9 月）

・いわき市立江名小学校

１学年「生活科学習」支援　　　　　　９名

・市立幼稚園（四園）森の教室

「どんぐり君と森の仲間たち」　　　１４０名

植樹苗木　育成巡回指導　３回実施

・いわき市立田人第２小学校

「理科学習」支援　　　　　　　　　　６名

・中央台北中学校２学年

「ボランテイア体験実習」支援　　　　４名

＊いわき明星大学科学技術学部

「環境教育と自然体験プログラム」

支援（７月～９月）

「学校林整備・調査学習」支援は毎週金曜日ふくしまグリーンフォレスターメンバーの支援により午前中行っておりますが　今シーズンは学校の夏休みが入り　学生の集まりが悪かったと思いますが　台風シーズンを前に「平子商店の協力支援」を頂きながら松枯れを中心に　間伐作業体験を行い　安全管理と里山の保全活動を学び　今後学生と一緒に考えながら整理して行きたいと考えております。

＊各種団体　自然体験活動支援（7 月～９月）

・いわき市青少年育成協議会小名浜支部

「森の環境教室・クラフト」　　　３６名

・ap bank fes 12Fund for japan 自然観察会

「みちのく公園」　　　　　延１３０名

・NTT 労組連合「ろうきん森の学校体験実習」

３２名

・いわき市青少年育成協議会小名浜支部

「森のハイキンギ　」　　　　　４５名

＊スキルアップ講座受講

・水環境教育指導者総合講座

（講師：福島大学　塘　忠顕准教授）　５名

・特別講座　海の成り立ちと環境学習

（講師：アクアマリン　津崎　順先生）９名

・特別講座　生物多様性と里山保全活動

（筑波大大学院　上條　隆志教授）延べ３６名

・特別講座

森林ガイドの実例とその基礎資料となる

植生調査

◎今後の活動について（10 月～１２月の予定）

・プログラム研修会　毎週木曜日

・いわき明星大学

「学校林整備・調査」毎週金曜日

・市立江名小学校

学習支援 10/11・10/16・10/25・11/8・11/22

・市立中央台北小学校学習支援

11/2・11/15～11/16

・市立綴小学校学習支援　　　　　11/9

・市立小学校学習支援予定調整中

・錦東小学校・田人第２小学校・上遠野小学校

・いわき明星大学集中講座

10/13・10/27・11/17・12/8

主な自然体験学習支援活動（平成 24 年 7～９月）

若森秀樹

1.小名浜クラフト教室

青少年育成市民会議小名浜支部主催

（1）.期　日　平成 24 年 7 月 31 日（火）

9：00～12：00

（2）.会　場

（3）.参加者　小学生高学年児童 35 名

（4）.実施結果

今回は高学年対象で、いろいろ工夫が見られたクラフト教室でした。

夏休みの宿題にも挑戦し、カブトムシやロボット人形など、ナイフやノコギリを使い細かい作業を楽しむ姿が印象的でした。

作品は、自由な発想のもと個性的な作品も多く見られました。

見本からもヒントをもらい工夫。ナイフを器用に使って、細かい作業に夢中に取り組んでいました。

2. 四幼稚園　森の教室

国土緑化推進機構主催　森の教室

（1）.期　日　平成 24 年 8 月 28 日（水）9～12 時

（2）. 参加者幼稚園

錦幼稚園・江名幼稚園・四倉第三幼稚園・

四倉第四幼稚園　（述べ 140 名）

（3）.実施内容

6 月末森の教室で、各幼稚園児がドングリの苗木を植えました。

今回は、2ヶ月後になりましたので訪問し、子供達と苗木の成長の様子を見てきました。

中にはお水をやりすぎたこともあったようですが、皆さんの愛情でしっかり根づいていました。

これからも更に大きく成長するのを楽しみにしています。

錦幼稚園

江名幼稚園

四倉第三幼稚園

四倉第四幼稚園

幼稚園児達が植えた苗木をとおして、森林の大切さが父兄・地域の人へと広がり、浸透していくことを期待しています。

3.　ボランティア実習

中央台北中学校 2 年生

（1）.期　日　平成 24 年 7 月 31 日（火）

9：00～12：00

（2）.会　場　湯ノ岳山荘

（3）.参加者　中央台北中学校 2 年生 4 名

（4）.実施内容

森林環境教育、森林整備作業と木の有効活用。

中央台北中学校の 2 年生男子生徒 4 名が、湯の岳山荘を訪れ、森林ボランティア活動の一部を体験しました。

湯ノ岳山荘では、化石燃料の代わりに森林整備ででた間伐材の薪を備蓄し、冬季の暖房に使用している薪作り作業を体験しました。まず、斧（おの）と薪割機で薪を作り、運搬して貯蔵場所に積み上げる作業を実施しました。

鉈（なた）の使用法や斧での薪割とともに初体験でした。

昔の里山の暮らしの体験として、火をおこしできた薪で、かまどで味噌汁をつくりました。チョッと煙い思いをしましたが、うまく出来ました。

次に、最近導入したばかりの自走式草刈り機を使っての、草刈り実習です。薪割りも同じですが、昔ながらの作業も機械化が進み、省力化されていることを体感出来たと思います。

午後は森に入り、元気な木を育てるため、手鎌で下草刈り実習大量の汗を流しました。

汗を流した後は、ウッドピースパズルで気分転換。これも森の木の有効利用。

これらは、二酸化炭素削減による地球温暖化防止の一つの活動を理解してくれたと思います。

斧による薪割体験

植生調査研修会に参加して

宍戸信夫

開催日　平成 24 年 9 月 8 日（土）～9 日(日)
調査地　湯ノ岳山荘フイールド・湯ノ岳山頂
講　師　筑波大学生命科学系　上条隆志教授
　　　　大学院生　中泉　尭
受講生　本会会員　述べ 36 名

9 月 8 日（土）～9 日（日）筑波大学上条先生と大学院生による植生についての研修会を受講しました。

研修会講義会場

第一日

1.生物多様性と里山保全活動をメインテーマとして研修は進められました。

生物多様性条約とは、地球に生きる生命（いのち）の条約として地球上のほぼ全て 192 ヶ国が加盟する条約で、しっかりと未来に受け継がれていくべき約束毎と位置づけられています。

そして、里山保全活動等が生物多様性全ての中でどのように位置づけられるかを考えると言うことを学びました。

（1）生物多様性の危機にはじまり.
（2）なぜ、生物多様性を守るか
（3）生物多様性に関する世界での取決め
（4）日本の生物多様性に対する 3 つの危機
（5）生物多様性の危機の対処例
（6）対処として里山保全活動

等などテーマ毎に研修しました。

2.大学院生　中泉さんの研究テーマ「湯ノ岳のスギ・ヒノキ人工林における、間伐・未間伐区間の下層植生の比較」について研究の紹介があり、その後現地を見学致しました。

間伐により、下層植生が豊かになるのを実感しました。

間伐・未間伐区間の下層植生の比較現地

3.植生調査票を使用し草地、林内の 4 ヶ所を設定し、調査の実習を行いました。

植生調査スナップ

第二日

1.植物社会学的生物調査法をテーマに実施されました。

調査の選定、階層構造の記載など野外現地調査について説明があり少々プロの領域を実感した。

2.湯ノ岳山頂直下のブナ林を観察しました。昔から自然の生態系といのちを支えて来た樹木を目にして心和むひとときでした。

湯ノ岳山頂のブナの樹下で

森の見せ方講座　　　　　若森秀樹

1.実施日　平成 24 年 9 月 14 日（金）～17 日（月）
2.会場　湯ノ岳山荘の観察コース
3.講師　埼玉大学荒木先生・学生（菊田、広永）
4.受講生　理事長他計会員 11 名
受講内容
　”森の見せ方”の考え方と案内資料をつくる基本技術の講座がありました。これをもとに、湯の岳山荘の観察コースを案内する小冊子を作成する計画です。
　キーワードは「場所の認識」で、「植生図」や「森林断面図」、「樹木の葉のスキャン」を実習しました。　下・森林のスケッチ風景・森林断面図例

まず観察コースを歩き、植生を観察し、森林断面図を作る候補地を選びます。
　長さ２０m、幅２mの区画を選び、マークします。樹高の測定。観察コースの高木は、２０m以上のものもあります。
区画内の高木、亜高木、低木、草本の４層構造をスケッチします。
森林断面図
植物の種類や高さ、地面の傾斜も分かるように描いていきます。
スキャナーによる葉っぱ図鑑
色々な種類の木の葉を集めて、スキャナーで読み込みます。
　代表的できれいな葉っぱを選び、重ならないようスキャンします。

木の葉のスチャンの講習

1年半後には楽しい冊子が完成します。乞うご期待！

アクテビティ・クイズ集作成

佐藤勝美

プログラム開発班では「クイズ集」を作成中です。
　その内容は、湯ノ岳山荘での自然観察会や自然体験学習支援活動の現場で適宜活用し、参加者が自然を理解、自然への親しみ、自然保護の大切さなど一層の興味を高めてもらえる事を期待し、下記のような身近な内容でクイズを作成しています。
　例題として。
　　福島県の木は「ケヤキ」です。同じくケヤキを県の木としている県はどこでしょう？
　　　　（答えはクイズ集にあります）
　クイズ集の作成は、６月より各人が３～５件のクイズを作成してインタープリティター形式で発表し合い、全員で討議・修正を加えて現場で活用できるように、８月現在２１件を作成しました。
　現在はプログラム研修会の場で、作成クイズを持って実習を行いつつ、各人のスキルアップ向上を図り、自然観察会や自然体験学習の場で参加者と楽しく自然と触れ合えるよう努力しています。
　現在も５０件を目標に､各人が追加作成中です。尚、これまで作成した「クイズ集」はホール本棚に備え展示してありますので興味のある方は是非ご覧下さい。

スキルアップ講座に参加して

海の成り立ちと環境学習　　猪村　武

実施　平成 24 年 8 月 30 日（木）
講師　アクアマリンふくしま　津崎　順先生
受講者　９名（プログラム開発班）
講座要旨
　地球誕生から海そのものに関することまでを直径 1mの地球のモデルを使用し講義をうけました。
　いろいろクイズ形式で質問し考えさせることで進行したので、大変面白く受講できました。
来年の実習が楽しみです。
平成 25 年春　大潮時期に予定しております。
　興味のある方はご参加下さい。

ろうきん森の学校　(7月～9月)

若森秀樹

1.日時　平成24年7月22日（日）9：00～12：00

主な実施項目

（1）.自然観察会と花炭づくり（2）.ネイチャークラフト（3）.野外料理体験

参加者　今回の特徴は、労金連合（東京）から家族の参加がありました。

＊.自然観察会と花炭づくり

花炭用の材料採集と昆虫採集を兼ねて2コースを散策しました。

持ち帰った花炭材を缶に詰め釜戸に火の上で蒸焼きにしました。火の管理は会員がおこないました。

結果は、赤松やヒマラヤスギの松かさ等が良く出来上がりました。

自然観察会、昆虫採集と里山の勉強

＊.ネイチャークラフト

カンナで削り、ヒノキのマイバシを作りました。

バランストンボ作りを行いました。

＊.野外料理体験

石窯で焼いた、サツマイモ・タマネギ等と山菜料理をマイハシで楽しく味わいました。

昼食は、山菜ご飯、キノコ汁、ゼンマイの炒め物、季節の野菜料理（農業班提供)。

花炭作り（缶を開けるのが楽しみ）

2.日時　平成24年8月26日（日）

9：00～15：00

ＮＴＴ労組連合・森の学校体験

主な実施項目

（1）.石窯料理体験（2）.木育教室（木工クラフト）

参加者　ＮＴＴ労組（福島、郡山、いわき）の役員の方々30名が、研修・交流の一環としてろうきん森の学校に訪れました。

（1）.石窯料理体験

準備は、大量のピザの盛り付け、石窯初のグラタン料理等準備は大忙しでした。

（石窯担当のスタッフも大忙しでした）

(石窯料理体験)大量のピザの盛り付けに大忙し

3.日時　平成24年8月26日（日）9：00～12：00

主な実施項目

（1）.自然観察会（2）.木工クラフト（3）.食事会

参加者　小学生男子の参加があり、虫の季節であり、虫探しの観察会となりました。

（1）.自然観察会

桜の木の根元で見つけたクモ・ショウリョウバッタの子供・アリジゴクの穴を掘ったり・ゆっくり動作のナナフシを捕まえたり・ムカデ発見・スズメガの大きな幼虫・カラスに食べられたカブトムシ等々珍しいものの発見、大興奮の観察会でした。(子供は虫が大好きだ)

（2）.木工クラフト

ドングリや松かさ等を活用した人形作り・今回初登場のバターナイフ作りに挑戦しました。

（3）.食事会

食後のデザートに参加者が作ったホットケーキが登場しました。バターナイフは見事にその役を果たしました。

食後は、ウッドピースパズルを楽しみました。

自然観察会

4.日時　平成 24 年 9 月 16 日（日）
9：00～12：00

主な実施項目
（1）.農作業体験
（2）.自然観察会
（3）.食事会

参加者　一般参加者と会員 20 名

（1）.農作業体験

農業班で丹精した作物の収穫作業をおこないました。

サツマイモの収穫体験（5 月上旬イノシシ防御対策を実施、今年は被害も無く収穫ができました）、ブルーベリの収穫も体験しました。

サツマイモのつるは、丸山公園の鹿のエサに提供しました。

サツマイモの収穫作業

（2）.自然観察会

埼玉大学・荒木先生の、”森の見せ方を考える講座”を受講しました。

先生の指導のもと、湯の岳観察コースの案内冊子を作ります。完成をご期待ください。

（3）.食事会

暑い日は、食後のスイカが何よりのご馳走でした。

「定例木工クラフト」開催について

担当　桑原

木工クラフトのレベルアップを図るため、定例木工クラフトを下記の内容で開催することにしました。

記

1.定例開催日時　毎月第 1・第 3 火曜日、
9：00～12：00
2.会　場　湯ノ岳山荘　森の工房
3.対象者　本会会員
4.作　品　日用品～装飾品まで

工具や機械等は一式準備して有りますので気軽に参加ください。

平成 24 年 10 月 2 日（火）に第 1 回開催しました。

参加者は、4 名でバターナイフに挑戦しました。

出来栄えも満足楽しい時を過ごしました。

木工クラフト作成スナップ

クラフトの種類は多彩です、工具や工作機械の取り扱いをマスター出来ればオリジナル作品に挑戦してください。

「大人の木工クラフト」

“何処にでもある様な小枝や細木で自分だけのバターナイフを作ってみませんか“と
一般募集（福島民報、福島民友掲載）による「大人の木工クラフト」を開催しました。

（1）開催日時　平成 24 年 10 月 14 日（日）
9：00～12：00
（2）会場　湯ノ岳山荘「森の工房」
（3）参加者　8 名（募集定員 10 名）
（4）指導者　5 名
（ほぼマンツーマンの対応でした）

参加者は、自分だけの「オンリーワン・バターナイフ」に挑戦。世界に一つしかないナイフが出来上がりました。

工作には、ナイフ以外に初めて使用する各種工具に興味を持ち、木工クラフトを楽しんだようでした。

木工クラフト指導スナップ

農作業、夏の活動報告　農作業班・太田

1.イノシシ避けフェンス内の畑で収穫開始

イノシシの侵入も無く、順調に生育したカボチャの収穫作業を行いました。

特にミニカボチャが豊作で１００個以上の収穫になりました。

さつま芋も生育が順調、９月１６日の森の学校で最初の収穫作業をしまし

たが、芋はまずまずの出来でした。

引き続き、１０月はさつま芋収穫と、落花生の収穫になります。

サツマイモ収穫風景

2.夏の日照りの影響について

夏の猛暑の時期に水不足で、約３週間ほど雨らしい雨が降りませんでした。

そのため、畑に時々給水しましたが、大豆や枝豆が発芽不良や実入り不良で収穫が出来ず不作になりました。

９月に入り、待望の雨が降り里芋、ネギ、さつま芋、落花生などの成長が　回復し葉色が良くなりました。

3.害虫の大発生

夏の日照りの影響もあって、害虫のウリハムシ（ウリバエとも呼ぶ）が

大発生しました。そのため、ウリ科の野菜*の苗が被害を受けて枯れた　事例もありました。

会の畑は無農薬栽培なので、ウリ科野菜の苗は行灯を仕立てるか、又は防虫ネットを掛けます。寒冷紗や防虫ネットは必需品です。

（*ウリ科野菜：ｷｭｳﾘ、ｶﾎﾞﾁｬ、ｽｲｶなど）

４．その他

１）雑草との戦い：農道や畑の周囲の草刈、畑の中の草取りをした。（毎月）

２）種蒔き、苗の定植：大根と玉ネギなどの種蒔き、白菜苗定植。（９月）

３）自家種イモ（里芋）の保存と植付栽培が成功。じゃが芋は失敗。

５．今後の予定

１）落花生＆さつま芋の収穫など。ソラマメ種蒔き、さつま芋苗作りなど。

２）農道、畑の周囲の草刈り。

３）もみ殻搬入、その他。

農作物秋の収穫について

1. 蕎麦・蕎麦畑　戸渡地内（約 0. 25ha）

(1) 種蒔　平成 24 年　８月１日（水）

参加者　会員 13 名　（4 名）

(2) 刈取　平成 24 年 10 月 1 日（月）

参加者　会員 19 名　（5 名）

(3) 脱穀　平成 24 年 10 月 9 日（火）

参加者　会員　8 名（2 名）

（再計トチギ環境未来基地）

・出来高は昨年より豊作ですが、栽培面積が思ったより広く労力に見合った面積にする必要あり。

2. 水稲

(1) 実施　平成 24 年 10 月 13 日（土）

(2) 水田　好間町川原子作（冬水田圃約 0.05ha）

(3) 参加者 12 名

・地主である木田さんの指導により稲刈りから乾燥方法まで学ぶ。乾燥は 2 週間程度必要とのこと。作況は良。

稲刈り作業

乾燥のため稲の積作業

定例整備班活動　（7 月～10 月）

夏期作業は、熱中症やスズメバチの被害が心配される事から、湯ノ岳山荘周辺の整備（草刈）と薪割を主に実施した。

1.山荘周辺の草刈作業　稼働 3 日・15 名

8/4 水（4 名）、9/1 土（4 名）、10/3 水（7 名）

2.薪割作業　稼働 2 日・11 名

9/26 水（6 名）、10/6 土（5 名）

3.その他

（1）新規導入機取扱い講習

自走式雑草草刈機（オートモア）

9 月 3 日（月）　受講者 3 名

（2）自走式雑草草刈機収納庫作成

9 月 6 日（木）　製作者 3 名

（3）チッパー取扱い研修　10/15 月　（5 名）

4.下期の主整備作業

栗林の整備を計画しております。面積約 1ha。チェーンソー・刈払い機・手道具での作業となります。予定を確認参加下さい。　担当：佐藤行年

キノコ班よりのお知らせ　荒川、佐藤（幸）

今年もキノコのシーズンとなりました。

現在ナメコ・ハタケシメジ・マイタケが出始めました。これからは、収穫が楽しみです。

収穫体験希望者がありましたら、キノコ班に確認山荘にお出で下さい。

キノコ班作業スナップ

ナメコ生育の状態（10 月 14 日現在）

今後は、ヒラタケ・クリタケ・ブナシメジ・エノキダケが予定されます。

プロ野球の森整備状況　佐藤行年

６月から　「プロ野球の森」の整備が始まりました。今回は、放射性物質の付着量が比較的高い常緑樹である杉の伐倒から始めました。

立木量は、350 本程あります、そのうち 120 本を当会員で伐倒することができました。

メンバーは、チェーンソー使用安全衛生特別教育終了者が主に午前中作業に当たりました。

これまでの稼働人数は、6 月・5 日間＝12 名、7 月・4 日間＝11 名、9 月・7 日間＝16 名で、延べ 39 名となりました。

伐倒木は、胸高直径 25 ㎝までと予定しておりましたが、安全作業研修を兼ねて胸高直径 45 ㎝まで挑戦しました。

今回は、安全作業研修を兼ねた作業でしたので、普段伐倒作業の機会が少ない会員にとつては絶好の機会となり技術の向上につながったと思っております。

また、今回の整備は杉の皆伐ですので、フイールドの放射線量の変化やどのような森と変化して行くのか今から楽しみにしております。

尚、杉の伐倒は 3 月末で完了予定です。

フイールドの変化写真

杉の伐倒前の風景

杉の伐倒後の風景

次回の整備作業予定は

・日時　平成 25 年 1 月 19 日（土）9：00～

・作業内容

モウソウ竹に侵入されているフイールドの整備を予定しております。

ＥＭ菌の発酵の力を利用した

成果交流発表会の開催

ＮＰＯ法人地域環境共生ネットワークでは、『ＥM技術による福島そして日本の農業の再生』と題し、二本松市文化センターにおいて、９月２日(日)参加者６０余人県内より１１団体。

県外の宮城・茨城・栃木・千葉県より５団体が集まり、ＥM活性液の散布により、発酵堆肥・有機肥料の作成および、バランスのよい土づくりを行い、美味しくて品質の高い農産物の生産と土壌中にあるセシウム放射能が農産物に移行することを抑制する働きがある事例の発表会がありました。

本会から松崎会長と菅野が出席し、各団体が取り組んでいる事例の数々を拝聴して来ました。

又、10 月 8 日(月)には、二本松市民会館において、７００～８００人を集め環境フォーラム『うつくしまEMパラダイス』―世界の事例から学ぶ災害復興―フォーラムがありました。

福島県の放射能汚染対策については、絶望的にならないように。あらゆる手を尽くし努力する以外に方法はないと思われています。

しかし、EMが作物の放射性物質を抑制することは１９９７年にわかっていますし、また、ＥＭ飲料によって内部被爆問題が解消できることやＥＭの土壌散布によって年々、１５～３５％もの放射線を低減させることも２００２年までに明らかになっています。

２０１１年３月１８日には、EM関係者の協力を得て、福島県内に放射能汚染対策の支援プロジェクトを次々に立ち上げ、多くのボランティアの協力を得て、多大な成果を上げています。

そのプロジェクトは、ＥＭを大量に培養できるシステムを設置し、賛同する住民へのボランティア支援として行っており県内外３５ケ所に広がっております。

本フォーラムでは、タイの大洪水の際に衛生対策に顕著な効果を発揮したＥＭの活用法および放射能で汚染されたチエルノフイリのベラルーシで得られた最近の見識を発表してもらい、環境問題の本質的な解決につながる情報を共有したいと期待したい、とＥＭ開発者比嘉照夫教授が言っていました。

菅野貞夫

育樹活動に参加

ふれあいの森下刈り作業

日　時　平成 24 年 7 月 21 日（土）9：00～

場　所　いわき市四倉町仁井田地内国有林

主　催　いわき青年林業会議所

参加者　会員 10 名・トチギ環境未来基地 6 名

海岸防潮林で松くい虫の被害のあった箇所に、松くい虫抵抗性松の植林箇所約 0.5ha の下刈りを実施した。

今回は、手鎌による下刈り作業でした。育樹作業で夏の下刈りは非常に厳しい作業で、熱中症が心配でしたが無事故で安全に終えることができました。

参加者記念写真

芝刈機を導入（自走式雑草草刈機・オートモア）

待望の芝刈り機が導入されました。

〔2012 年(平成 24 年)8 月 27 日〕

広場や駐車場の整備が楽しくなりますし、何よりお客さまが気持良く利用出来るものと思っております。

機械は小型ながら高性能操作楽々です。

操作楽々とは言え、強力なエンジンが搭載されておりますので、草刈作業安全のため先ず「取扱説明書」を熟読してから使用してください。

尚、正常な機能を発揮させ、安全に使用できるように点検整備を怠ることのないようにお願いします。（仕業・月例・年次点検表は取扱説明書参照）

収納場所も整備されました。

使用後は終業点検を行い不具合箇所等が有りましたら、そのままとせず担当者にご連絡ください。

担当者：佐藤誠一

オートモア

＊＊お知らせ＊＊

「ふくしま紙芝居まつり」の上演について

ひろしま自然学校の志賀理事長とその仲間達によって作成されたふくしま紙芝居 50 本製作発表を兼ねた「ふくしま紙芝居まつり」が下記内容で上演されます。

これらは上演することにより、東日本大震災で被災した地域の文化や伝統を広く後世にわかりやすく伝えるツールのひとつとして活用されるものと思っております。

記

（1）日時　平成 24 年 12 月 9 日（日）
午前 9:45～

（2）会場　東日本国際大学・いわき短期大学

（3）上演紙芝居について

いわき市の紙芝居はもとより、新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、大熊町など福島県下のまち物語を紙芝居にしたものを上演します。

（4）いわき市の物語

石になった母、おな石伝説、大仏石、星一物、星一選挙大学、安寿と厨子王、燃える男片寄平蔵。

（5）主催

ボランテポ広島、まち物語製作委員会、ふくしま紙芝居まつり現地実行委員会

（6）本会もこの「ふくしま紙芝居まつり」協力一会員です、ご家族や友人知人等お誘い合わせの上是非参加下さい。

「ふくしま紙芝居まつり」
チラシ

編集後記

今年は、厳しい暑い日が続いた夏でした。
そして、降雨量が極端に少なく我が家の菜園は乾燥し夏野菜には大変過酷な状態でした。

湯ノ岳山荘も水不足になり、給水対策とその対応に大変でした。

暑い暑いと思っていたのですが、森にはキノコ、庭のキンモクセイの香、あぜ道には彼岸花水田は黄金色と稲刈りと実りの秋、夜長の虫の音、確実に季節は秋です。

今年は秋の紅葉が心配です、9 月の気温が高い年は紅葉が遅いと言われております、遅くとも今後の夜間の冷え込みなど気温の変化で葉は色鮮やかなると言われております。

鮮やかな紅葉を期待したと思っております。

9 月 5 日、素晴らしいニュースが入りました。
日本野球機構は、来年 7 月 22 日に「2013 プロ野球オールスター戦」第 3 戦を「いわきグリーンスタジアム」で開催を決定したと発表されました。
「プロ野球の森」整備に力が入ります。
9 月 12 日には、富士山では初冠雪を観測したとのこと。

又、各地の白鳥越冬地から、早くも北国より白鳥飛来の二ュース入ってきました。

そして、10 月 14 日には例年より遅いとのことですが、北海道旭岳や利尻岳・岩手山・飯豊山等でも初冠雪が観測されました、朝夕がめっきり寒くなりました。

（発　　　行）NPO 法人いわきの森に親しむ会
（発行責任者）松﨑和敬（編集担当者）伊藤貞夫
（事　務　局）〒972-8326　いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2
湯ノ岳山荘内
TEL/FAX　0246-44-3273
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp
HP:http://www16.plala.or.jp/goan/